

第 25 号

発行：平成 26 年 4 月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：122 名(平成 26 年 3 月 31 日現在)

(家族会員=8 名、個人会員=114 名)

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内

連絡先：電話 0598-56-6847

Fax 0598-56-7328

発行責任者：飯田 秀

新年度のご挨拶

会長 飯田 秀



新年度を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

「松浦武四郎記念館友の会」設立後早や 6 年目を迎え、友の会だよりの年 4 回発行を継続することで、会員との絆が深まり会員数も 120 名を超え、市民の皆様にも期待されております。

昨年はネットワーク創りを目標に松阪偉人顕彰団体協議会が設立され、友の会も各団体との交流を深め新しい取組みも試みており、今後更に深めていきたいと思っております。

又、我々の活動が認められ、「松阪市社協だより」に載せていただき、多くの方に読んで貰ったことは有り難く思う次第です。

毎月開催されている「武四郎講座」や大黒屋光太夫顕彰会及び斎宮歴史博物館友の会等との交流会で学んだことを生かして役員とも相談をしながら今後の活動に取り組んでいきたいと思っております。

今期は、「松浦武四郎記念館」創立 20 周年の式典、「武四郎まつり」も第 20 回目と節目の年であり、友の会としても全力で協力していきたいと思っておりますので、更なるご支援を賜りますようお願い致します

今後、活動を通じて人と人との繋がりを大切にコミュニケーションを深め、信頼と思いやり、絆づくりを大切に組織力の強化・風格ある友の会事業の創造に努めていきたいと思っております。

活動については、昨年同様「会員交流懇談会」で出された意見・アイデアを役員会で検討し、皆さんに親しまれる友の会にしていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

バス研修旅行について

5 月 19 日(月)に開催予定の研修バス旅行(大阪天満宮の神鏡拝観、及び大阪歴史博物館、NHK 放送センターの見学)は、お蔭様で定員の 40 名を越えました。

現在はキャンセル待ちの状態です。

エノヤマザクラについて

平成 20 年から 22 年にかけて北海道新聞社から贈られ、記念館北側広場の周辺に植えられたエノヤマザクラの見頃は毎年 4 月下旬から 5 月中旬です。皆さまにも、見ていただければ幸いです。

武四郎まつりが賑やかに開催されました！！

平成 26 年 2 月 23 日(日)に毎年恒例の武四郎まつりが開催され、松阪市内外から約 4500 名の方が来られました。

音威子府村のコーナーでは、村名産の蕎麦や羊羹が販売され、北海道から佐近勝村長や釧路在住の会員神戸さん始め、友の会役員がお手伝いしました。お蕎麦は黒っぽいのが珍しく、長い行列が出来ました。

アイヌ文化体験コーナーでは会員による指導もあり、多くの家族連れが楽しめました。

その他には、記念館屋内での案内、書籍の販売や記念館入口での友の会活動のパネル展示など、誕生地での案内・説明、真覚寺では由緒説明などを行いました。

お手伝いいただいた方に厚く御礼申し上げます。



記念館入口で書籍の販売



音威子府村前の行列



アイヌ文化体験コーナー



活動のパネル展示(記念館入口)

友の会主催の武四郎講座が続く！！

「世にも稀なる蝦夷屏風」(平成 26 年 1 月 12 日)

新年初めの武四郎講座は山本命学芸員に「どんなに凄い屏風」なのかお話をさせていただきました。

屏風は武四郎が松阪の実家に作らせたもので、張られている手紙は江戸時代末期から明治にかけての志士たちとのやり取りが判りました。

又、蝦夷地探索の際の手紙や購入した品物やその数量・価格などが記載された領収書などもあり、大変興味の湧く講座となりました。修復が終わり一般に公開されるのが待ち遠しいです。



多くの受講者

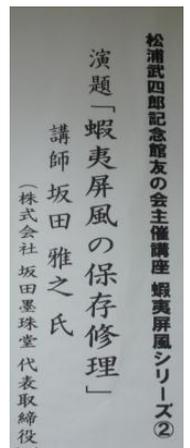
「蝦夷屏風の保存修理」(平成 26 年 2 月 9 日).

2 月は 25 年度より 2 年をかけて「蝦夷屏風」の修理を行っている株式会社 坂田墨珠堂(滋賀県大津市小野町)代表取締役の坂田雅之先生を講師に迎えて「屏風の基本」「修復の意義」「どんな修理をしているのか」「今後の方向」などのお話をさせていただきました。

屏風の構造、国宝級の屏風を修理する目的、修理の際に調査する歴史的意義、単なる修復では無く今度修理する



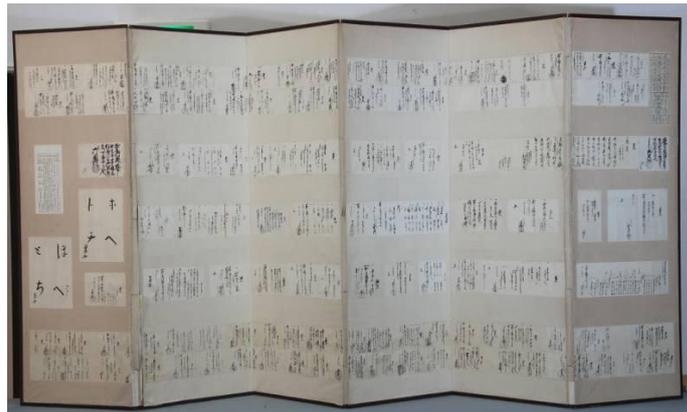
講師の坂田雅之先生



ことを考えた修理、紙や糊の材質への配慮など、実例を交えて詳しく説明していただき、今までの講座とは一味異なる内容となりました。尚、坂田先生は一般社団法人国宝修理装飾師連盟の理事長もされています。修復を終えた蝦夷屏風は平成 27 年初めに公開展示される予定です。



屏風の表面



屏風の裏面

いつきのみや梅まつりに友の会の活動展示を行いました。

今年の第 10 回「いつきのみや梅まつり」は 3 月 2 日に齋宮歴史博物館ふるさと広場周辺で開催されました。

交流をしている齋宮歴史博物館友の会のご好意で、松浦武四郎記念館友の会としてテントを借りて、武四郎の紹介、友の会の活動についてパネル展示をさせていただきました。

友の会のコーナーにも多くの方々に立ち寄っていただき、武四郎の足跡や功績について知ることが出来ました。

又、「齋王登場！記念撮影！」「いつきの舞」「齋王紙芝居」

「齋王ビンゴ」「ふれあい動物園」「甘酒の振舞い」「『めいひめ』とのじゃんけん！」「業平夢太鼓の演奏」「十二単の試着」「梅の種飛ばし大会」「野点」など多くの催しがあり、地元の名産や野菜の販売もあり、多くの家族連れが訪れ楽しみました。

友の会からは数名がパネル展示の説明に参加しました。又、「梅の種飛ばし大会」にも参加しましたが、一発勝負的なこともあり、意外と難しく飛距離が出ませんでした。尚、最高記録は 8m38 cm でした。

今後も、多くの友好団体との交流を通じて、武四郎の功績を広められたら・・・と感じました。



あいんこ劇団松阪講演を観劇

3 月 5 日に農業屋コミュニティーセンターにおいて、松阪偉人顕彰団体協議会の会員である「茶王・大谷嘉兵衛翁の会(川俣地区の方々を中心)」が主体となって結成された「あいんこ劇団」が大谷嘉平衛翁物語(約 2 時間)を演じられました。

内容は、藤吉と名付けられた幼少時代から、横浜へ出て茶商小倉商店＝伊勢屋に勤め後には養子に迎えられ店を繁盛させるなど実績を残し、スミス・ベーカリー商会に勤めた後に、伊勢屋として独立し、お茶をアメリカへ輸出する際には関税の高さを感じ、時のマッキンレー大統領に会って、関税の完全撤廃を約束させるなど大きな功績がありました。

又、幼少から故郷の川俣では川に丸木橋しかなく、度々川に落ち、溺れて命を落とす事故が絶えなかったのを、何とかしたいと考え、鉄の橋を作りました。

劇を鑑賞し、嘉平衛翁の偉大な功績が良く理解できました。言わば素人の方々が役を演じ、会場の方々は大いに感激に浸りました。又、途中には笑いもあり、山中松阪市長は松阪の商人として特別出演されアドリブもあり、観客の笑いを呼び、正に舞台と観客が一体となって楽しんだ一時でした。

ありんこ劇団 松阪公演
大谷嘉平衛翁物語
脚本・演出 小林典子

あらすじ
江戸時代の終わり頃、藤吉(後の大谷嘉平衛)が5歳の時、川俣川(瀬田川)に架かるこじか木橋(丸木橋)から落ちた幼女が滝間に召まれるという悲しい出来事から物語は始まる。
「ここに大きな橋があれば」と藤吉は幼少ころに思っ、やがて藤吉は男が20歳になったら修行する大和の大橋山に15歳で登り、世間を驚かす。藤吉は19歳で故郷を離れ、横浜の茶商、小樽藤井翁の店に奉仕し、藤井翁の養子となる。小樽地帯は荒涼とするが、藤吉と世間が合わないために離れられた藤井翁は、藤吉の「スミス・ベーカリー」で働き始める。そこで、藤吉翁は必死めどと橋を築き、「お茶の大谷」として、横浜はもとより、全国に名前が知れるようになり、我が国の茶業界に多大の功績を残す。その一つに、アメリカのマッキンレー大統領に会い、お茶の関税撤廃成功がある。
結局20年、豊饒の大谷橋を築き、吾輩と共にした妻の古い子は、病のため、がえらぬ人になった…。藤井翁は、その後日本茶の茶業はもとより、政治・教育・文化等多分野にわたって尽力。そうして途中で、藤井翁の影の中にも、なつかしいふるさと川俣があった。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 主催 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
ありんこ劇団・川俣地区住民協議会(松阪市飯高町)
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 後援 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
松阪市・松阪市教育委員会・夕刊三重新聞社・松阪ケーブルテレビ
平成26年3月5日(水) 午後6時30分開演 農業センターコミュニティセンター [全席自由]

【松浦武四郎記念館よりのお知らせ】

- 武四郎講座のご案内** ※下記は予定ですので、変更になる場合があります
- 5月11日(日)10時～11時 テーマ：未定 講師：山本 命学芸員
当日は、講座終了後に友の会の総会が開催されます。
 - 6月8日(日)10時～ テーマ：未定 講師：山本 命学芸員
 - 7月13日(日)10時～ テーマ：未定 講師：山本 命学芸員

展示のご案内

- ◆テーマ：武四郎の晩年 6月1日(日)まで
松浦武四郎は晩年に、大台ヶ原の登山や一畳敷の書齋を作るなど、精力的に活動しました。老いてなお衰えることの無かった武四郎の姿を、多彩な展示資料から紹介します。
- ◆テーマ：武四郎と和歌 6月3日(火) ～ 8月3日(日)まで
松浦武四郎はその生涯で多くの和歌を詠みました。武四郎が詠んだ和歌に関する資料を展示し、歌人としても活躍した武四郎の姿を紹介します。
- ◆テーマ：武四郎とアイヌ民族 8月5日(火) ～ 10月5日(日)まで
松浦武四郎は幕末に6度にわたって蝦夷地の調査を行いました。調査を通じて出会ったアイヌ民族との交流の様子を、調査記録や地図などから紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

友の会の総会について
5月11日(日)の武四郎講座の後(11時頃から)総会を開催します。
是非、多くの皆さまのご出席と、具体的な提案をお願いします。

年会費の納入についてのお願い

新年度が始まりました。平成26年度の年会費(個人会員500円、家族会員1000円)を、役員又は記念館事務局へ納入して頂くようお願いいたします。